

あっ んしおかせ 64号

発行日 令和5年7月1日
編集 男女共同参画情報紙編集スタッフ
(大畑由香・小林綾・長嶋真理子)
発行 焼津市 市民環境部 市民協働課
(〒425-8502 焼津市本町 2-16-32)
☎ 054-626-1178
✉ kyodo@city.yaizu.lg.jp

©かわいさちこ

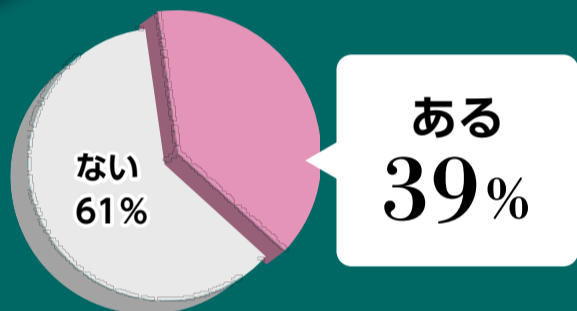
男女共同参画社会とは、世代や性別にかかわらず、誰もが自分らしく暮らせる社会です。
そのためには、私たちの住む地域や身近な社会生活について、行政と市民が互いに知り、学び、考え、発信し合い、共に社会をつくって動かしていきましょう。

無意識に 思い込んでいることは ありませんか？

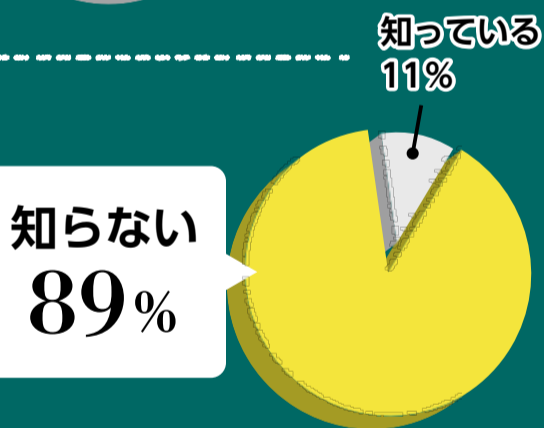
ここ数年、社会全体で男女平等に関する取り組みは進んでいますが、まだまだ理解が深まっていない部分もあると思います。そのひとつに、偏ったモノの見方(アンコンシャス・バイアス)があります。そこで、今回は皆さんにアンケートを取り、色々な視点から見てみることにしました。あなたもこれをきっかけに、一緒に考えてみませんか？

皆さんの声聞くためにアンケートをしました！

Q あなたは男だから、女だからという理由で嫌な思いをしたことがありますか？また諦めたことはありますか？



「アンコンシャス・バイアス」という言葉を聞いたことがあり、知っていましたか？



アンケート結果を見てみると、男だから・女だからという理由で嫌な思いをしたことがある、または諦めたことがある人が約4割もいることがわかります。

自分の力だけでは解決できないことを理由に挑戦できないのは、辛い経験だと思います。男は・女はこうであるべきだ、というフィルターがかかってしまい、日常的に意図せず相手を追い込んでいるかもしれません。

このように『アンコンシャス・バイアス』はとても身近にあるものなのです。今はまだこの言葉を知らない人が約9割もいますが、これをきっかけにまずは知ることからはじめてみませんか？

次のページからは、実際に皆さんから聞いたエピソードを紹介していきます。

対象▶10歳以上 方法▶アンケートフォーム 期間▶2023年4月24日～5月8日 回答数▶94件

アンコンシャス・バイアスとは

- 私たちは、何か見たり、聞いたり、感じたりしたときに、実際にどうかは別として無意識にこうだと思い込むことがあります。例えば、次のようなことを思うことはありませんか？
 - ゆとり世代は、協調性がない。
 - 日傘は、女性が使うものだと思う。
 - 血液型だけで相手の性格を想像することがある。
- これらを「アンコンシャス・バイアス」と言い、日本語では「無意識の思い込み」などとも表現されています。このように、何気なく発した言葉で傷ついたり、嫌に思ったりしたことはありませんか？
相手にとってよかれと思ってやったことが裏目に出してしまうことがあるかもしれません。

ひとつ「働き方」を変えてみよう！



「仕事と生活の調和」の実現に向けて、ひとつ「働き方」をカエてみませんか？

詳細は →

